

9 / 5 (火) の行事

報道発表資料の配付日時 8月29日(火) 10時00分

発表項目 (行事名)	上川管内ヒグマ対策実務者研修会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>ヒグマの生息数は増加傾向にあると考えられており、農業被害も増加傾向にあり、近年は市街地へ侵入するヒグマが出現、人身事故を惹き起こすなどの事件が多発し、今年5月には幌加内町朱鞠内湖において死亡事故が発生しました。</p> <p>ヒグマの行動に変化がみられる中、ヒグマ対策を担う市町村等の担当者を対象に、ヒグマの生態に関する知識や、出没時の対処方法を学ぶ研修会を次のとおり開催しますので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>開催日時：令和5年9月5日(火) 午後2時から午後4時30分まで 開催場所：旭川市永山6条19丁目 上川合同庁舎3階講堂 開催内容：上川管内市町村職員による事例発表 専門家等による講演 質疑応答・意見交換</p>		
参考	※本研修会の開催要項は別添のとおりです。		

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	上川総合振興局 保健環境部 環境生活課 自然環境係 (担当：高橋) 電話：0166-46-5922 (係直通)		
-------------	--	--	--

上川管内ヒグマ対策実務者研修会 開催要領

1 開催目的

ヒグマの生息数は令和2年度で11,700頭（95%信用区間 6,600頭～19,300頭）と推定され、個体数は増加傾向にあると考えられている。そのような状況下、ヒグマによる農業被害も増加傾向にあり、近年は市街地へ侵入するヒグマが出現し、人身事故を惹き起こすなどの事件が多発し、今年5月には幌加内町朱鞠内湖において死亡事故が発生した。

ヒグマの行動に変化がみられる今、ヒグマ対策を担う市町村等の実務レベルの担当者に対し、ヒグマの生態に関する知識や、ヒグマ出没時の対処方法を学ぶ機会として、標記研修会を開催する。

2 開催日時 令和5年（2023年）9月5日（火）午後2時から午後4時30分まで

3 開催場所 旭川市永山6条19丁目 上川合同庁舎3階講堂

4 参集対象 上川総合振興局管内市町村のヒグマ対策担当者
環境省大雪山国立公園管理事務所職員

5 開催内容

- ① 事例発表1 「占冠村におけるヒグマ対策について」25分
浦田剛氏（占冠村農林課・野生鳥獣専門員）
- ② 事例発表2 「幌加内町におけるヒグマ対策について」25分
安藝修氏（幌加内町産業課・主幹）
※朱鞠内湖人身事故発生状況の概要を振興局職員が事前説明する。
- ③ 講演 1 「丸瀬布森林公園いこいの森のヒグマ」25分
小山信芳氏（有限会社アメニティ・トラスト 前・遠軽町職員）
- 〈 休憩 10分 〉
- ④ 講演 2 「地域で変わるクマの行動」25分
吉澤茉耶氏（NPO法人もりねっと北海道 前・知床財団）
- ⑤ まとめ 「これからのヒグマ管理」20分
山本牧氏（NPO法人もりねっと北海道代表）
- ⑥ 質疑応答・意見交換 20分

6 その他

本研修会は公開で行う。